

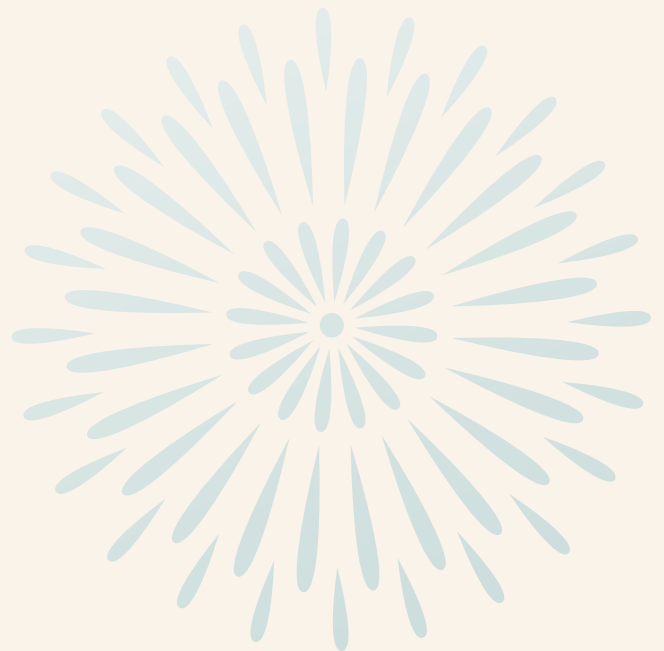
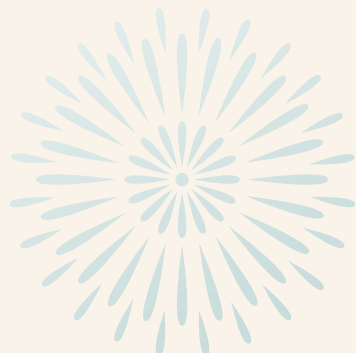


case.11

# 徳 島 県 美 馬 市

RESASを使った分析例

- |   |                 |      |
|---|-----------------|------|
| 1 | 第1次産業(農業)に係る分析  | P188 |
| 2 | 第2次産業(製造業)に係る分析 | P191 |
| 3 | 第3次産業(観光)に係る分析  | P194 |



## ● 美馬市の概要

2005年に4町村の合併によりできた人口30,860人の市。徳島県西部に位置しており、四国各県への交通の結節点となるなど利便性が高い。また「うだつの町並み」をはじめとする歴史的・文化的観光資源に恵まれている。

美馬市は徳島県の西部、徳島市から40kmに位置する市であり、2005年に旧美馬郡内の脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村が合併してできた。市のほぼ中央を東西に吉野川が流れ、穴吹川など幾多の川が吉野川に流れ込み、その沿岸の平野部が主な可住地となっている。吉野川を挟むように県道鳴門池田線、国道192号、徳島自動車道、JR徳島線が走っており、徳島へは40分程度、また神戸市や岡山市へも2時間程度で行くことができる交通の結節点となっており、四国各県都へも利便性は高い。

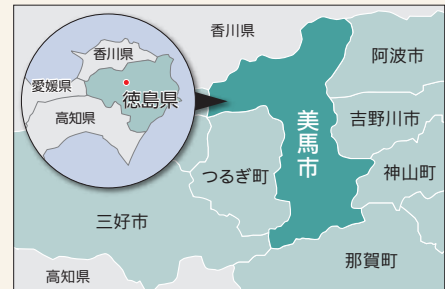
また、近世・近代の歴史的建造物が建ち並び、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている「うだつの町並み」など、歴史的・文化的資源にも恵まれている。

### ■主要データ

面積※1	367.14km <sup>2</sup>	世帯数※2	12,890世帯
人口※2	30,860人	事業所数※4	1,548
人口密度※3	84.06人/km <sup>2</sup>	従業者数※5	11,819人

出典／※1 平成27年全国都道府県市区町村別面積調 ※2 美馬市ホームページ(平成27年12月末現在)  
 ※3 上記記載の「人口÷面積」にて算出 ※4 平成26年経済センサス-基礎調査(事業内容等不詳を含まず)  
 ※5 平成26年経済センサス-基礎調査(男女別の不詳を含む)

### ■国内における位置



### ■うだつの町並み



## ● RESAS 活用の背景 / 活用状況

「地方創生」実現に向けた取組の中で、地域産業の課題と特徴を踏まえた雇用対策の検討において、RESASを活用している。

美馬市では、総人口が1950年(63,898人)から一貫して減少しており、2040年の将来推計値は約2万人である。また、1990年には老年人口が年少人口を上回り、高齢化も進展している<sup>1</sup>。美馬市ではこれらの状況を踏まえて、次の4つを基本目標に据えた「地方創生」実現に向けた取組を始めている。

- ①市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する
- ②市への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

美馬市が市内在住の20～39歳を対象に行ったアンケートによると、美馬市で暮らすために必要なこととして、60%以上の方が「暮らしを支える働く場」を挙げており<sup>2</sup>、市内在住の高校生に行ったアンケートでは、美馬市に就職を希望しない理由として、40%以上の方が「希望する就職先がない」を挙げた<sup>3</sup>。これらの課題の解決に向けて、若者の「雇用」の確保を実現するために、地域産業の課題と特徴を踏まえた雇用対策の検討において、RESASを活用している。

1 資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
 2 資料：美馬市による市内在住20～39歳1,000名に対するアンケート調査(2015年)  
 3 資料：美馬市による市内及び近隣の高等学校・特別支援学校在校生に対するアンケート調査(2015年)

## ● RESASの分析によって得られた内容

RESASを活用したことで、美馬市の第1次産業から第3次産業において、それぞれ強みを持つ産業と、その現状課題を把握することができた。そして得られた結果から今後の施策の方向性を確認することができた。

美馬市の「地方創生」実現に向けた取組を進めるに当たり、RESASによって第1次産業から第3次産業までの産業分析を行うことによって、強みを持つ産業及び現状の課題などを把握することができた。また、今後の地域産業の課題と特徴を踏まえた活性化策の方向性について確認することができた。

まず、美馬市の第1次産業について、RESASの農林水産業マップの活用によって、美馬市の強みとなる農作物について確認することができた。また美馬市の主要な農作物の中に、販売額の減少幅が大きいものがあることが分かり、農作物の多様化と地域特性に合わせた農業振興が必要であることが示唆された。今後は農作物のブランド化による付加価値の向上や、生産・販路の拡大などを図っていく方針である。

次に、美馬市の第2次産業について、RESASの全産業火花図を用いて調べた結果、化学工業の付加価値額が突出して高く、地域中核企業との相関についても明らかにされたことから、化学工業が美馬市の強みであることが分かった。今後は化学工業を重点産業として、雇用対策等充実した支援に取り組む予定である。

最後に、美馬市の第3次産業について、代表的な観光資源である「うだつの町並み」について、四国の主要観光地と比較を行った結果、他の観光地に比べて流動人口が少ないことが分かった。今後は「日本版DMO<sup>4</sup>」の構築による教育旅行、体験観光プログラムの充実や地域の観光資源を活かした観光を追求し、流動人口を増加させていく方針である。

4 Destination Management/Marketing Organization の略。様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。

### RESASの活用風景

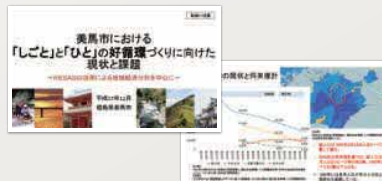
#### ■RESAS活用ワークショップの様子



#### ■RESASの活用について議論する様子



#### ■活用のための資料



## 第1次産業（農業）に係る分析

### ●活用の背景

美馬市では養鶏をはじめとする農業が古くから盛んであり、ゆず、はっさく、ぶどうなどの産地としても知られている。また美馬市で栽培された青唐辛子を使い、独自の商品開発も行っている。一方で、農業の生産者は高齢化が進み、2010年の統計では60歳以上が約70%を占めるなど<sup>5</sup>、近い将来、担い手不足が予測されている。そこで、美馬市の今後の農業振興策を検討するに当たり、RESASを活用して、現状分析を行った。

### ●分析内容

第11-1-1図は、美馬市における農作物販売金額及び構成比を、農業部門別に示したものである。これを見ると、販売金額が最も多いのは花き・花木であり、販売金額全体の約36.7%を占めることが分かる。第2位は養鶏であり、販売金額全体の約18.2%を占めている。

第11-1-2図は、美馬市における農業部門別販売金額について、2005年と2010年を示したものである。これを見ると、全体的に販売金額が減少している農業部門が多く、とりわけ、養鶏、露地野菜、工芸農作物において減少幅が大きいことが分かる。

第11-1-3図は、美馬市における農業部門別販売金額について、美馬市内の旧市区町村ごとに示したものである。これを見ると、花き・花木は脇町地区、養鶏は岩倉地区、重清地区、口山地区など、露地野菜は郡里地区、重清地区など、地区ごとに盛んな農業部門が異なることが分かる。

### ●得られた結論・今後の展開

担当者によると、「近年、農業データの収集が困難になっており、近隣自治体との比較もできるRESASは非常に役立つ。これまで販売金額の1位は養鶏と考えられており、花き・花木が1位であることは想定外であり、非常に有意義な気づきが得られた。」とのことであった。

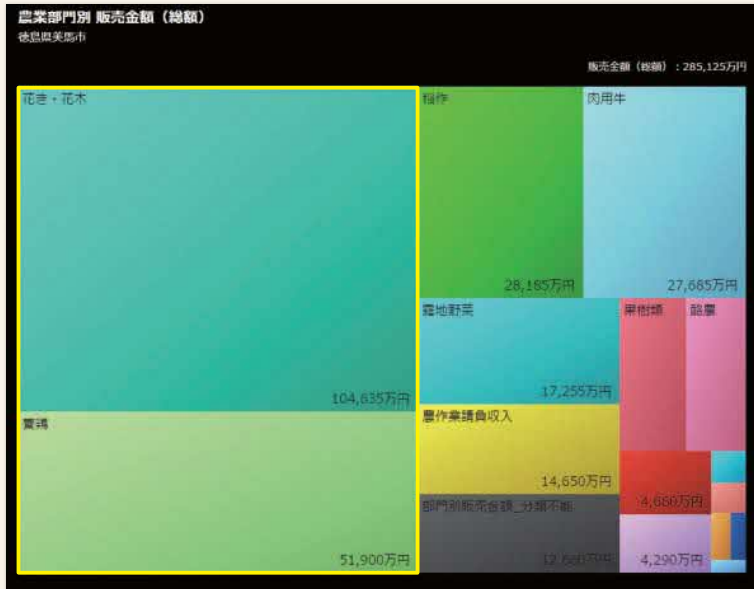
花き・花木については、美馬市は洋ランの一種であるシンビジウムの生産量が全国一であり、脇町地区に育成と種苗生産で全国約80%のシェアを有する企業があることから、大きな販売金額となっていることが予想される。また、養鶏や露地野菜など、販売額の減少幅が大きい農業部門が複数あることも分かった。この分析結果から、花き・花木部門を維持・振興するだけでなく、現状のニーズに合わせた農作物の多様化を図る必要があることを認識することとなった。また、地区ごとに盛んな農業部門が異なることから、平野部や山間部など地域の特性に合わせた農業振興が必要であることが示唆された。

今後は、美馬市の強みとなり得る作物や耕作放棄地の状況、担い手に関する情報などについて、引き続きRESASを活用した分析を行うとともに、農作物のブランド化による付加価値の向上や、生産・販路拡大などを通じて、農業における所得向上につなげる施策を図っていく方針である。

5 資料：総務省「国勢調査」

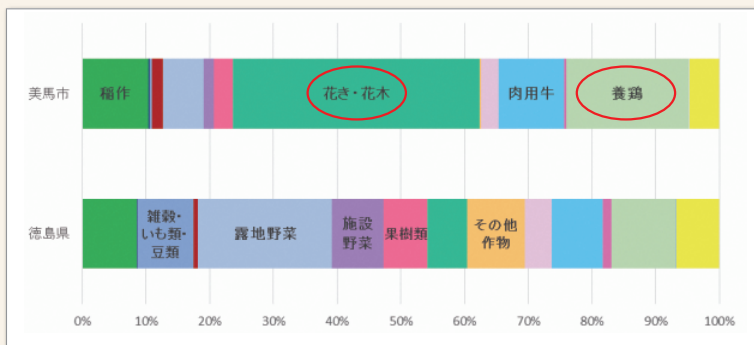
1 RESASを使った分析例 | 第1次産業（農業）に係る分析

■(第11-1-1図)農林水産業マップ 農業花火図 農業部門別販売金額(総額)  
[徳島県美馬市 2010年]

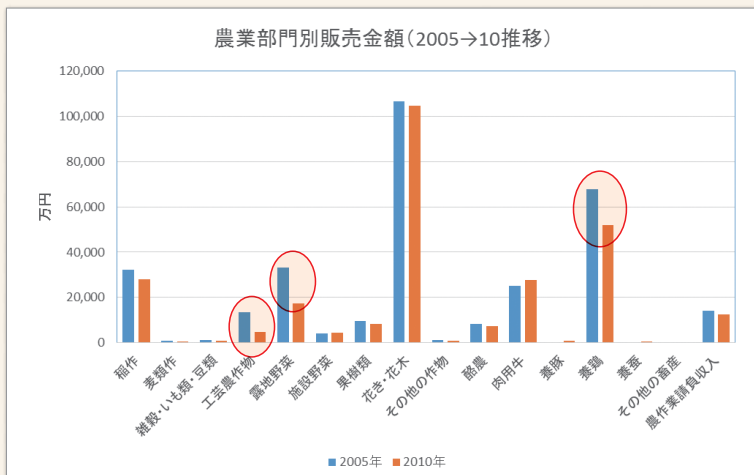


**Point!**  
美馬市における販売金額が最も多い農作物は「花き・花木」で、全体の約36.7%を占める。次に養鶏で、全体の約18.2%を占める。

農林水産業マップ 農業花火図 農業部門別販売金額(総額)  
[徳島県美馬市 2010年] 再編加工



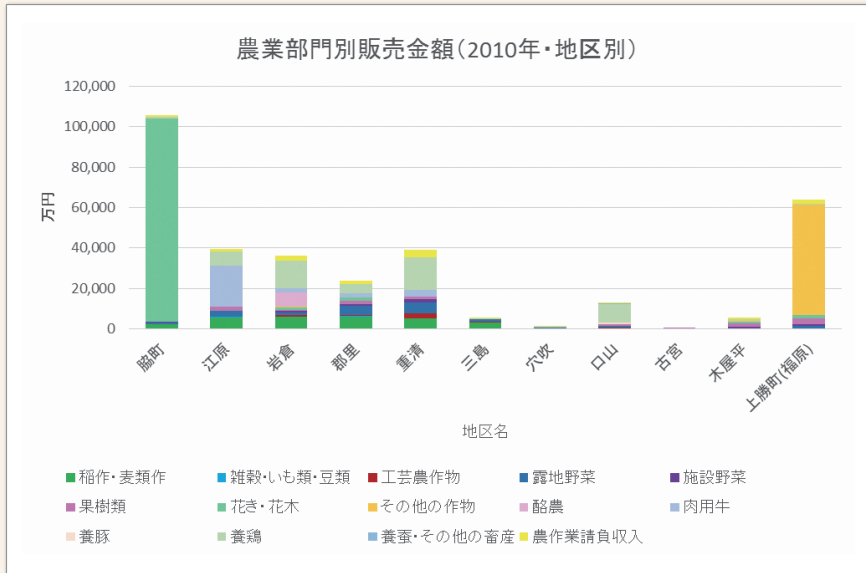
■(第11-1-2図)農林水産業マップ 農業花火図 農業部門別販売金額(総額)  
[徳島県美馬市 2005年 2010年] 再編加工



**Point!**  
花き・花木以外では、2005年から2010年にかけて販売金額が減少しているものも多く、特に養鶏、露地野菜、工業農作物において減少幅が大きい。



■(第11-1-3図)農林水産業マップ 農業花火図 農業部門別販売金額(総額)  
 [脇町、江原町、岩倉村、郡里町、重清村、三島村、穴吹町、口山村、  
 古宮村、木屋平村、上勝町福原村 2010年] 再編加工



※指定の町村はすべて  
徳島県美馬市内の旧市区町村

**Point!**

花き・花木は脇町地区、養鶏は岩倉地区、重清地区、口山地区など、露地野菜は郡里地区、重清地区など、地区ごとに盛んな農業部門が異なる。

📷 美馬市の風景

■寺町



■剣山雲海夕景



■脇町潜水橋



## 第2次産業（製造業）に係る分析

### ●活用の背景

美馬市における第2次産業は、建設業と製造業が中心で、雇用面における貢献も大きい。特に製造業は、15～29歳の人口比率が約20%を占め、39歳以下の人口比率は40%を超えており、主な産業に占める若い労働者の割合が最も高い<sup>6</sup>。そこで、若者の雇用の基盤となり得る製造業の強みを把握するために、RESASを活用して分析を行った。

### ●分析内容

第11-2-1図は、美馬市における産業別の付加価値額及び構成比を示したものである。これを見ると、製造業のうち、付加価値額では化学工業が際立って大きいことが分かる。化学工業の特化係数は5.8と、全国平均と比べても著しく高い。

第11-2-2図は、化学工業における従業員数と特化係数（従業員数）を業種別に示したものである。これを見ると、化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業の特化係数が突出して高いことが分かる。

第11-2-3図は、化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業における地域中核企業候補を抽出したものである。これを見ると、複数の企業が抽出されており、地域に根ざした産業となっていることが分かる。

### ●得られた結論・今後の展開

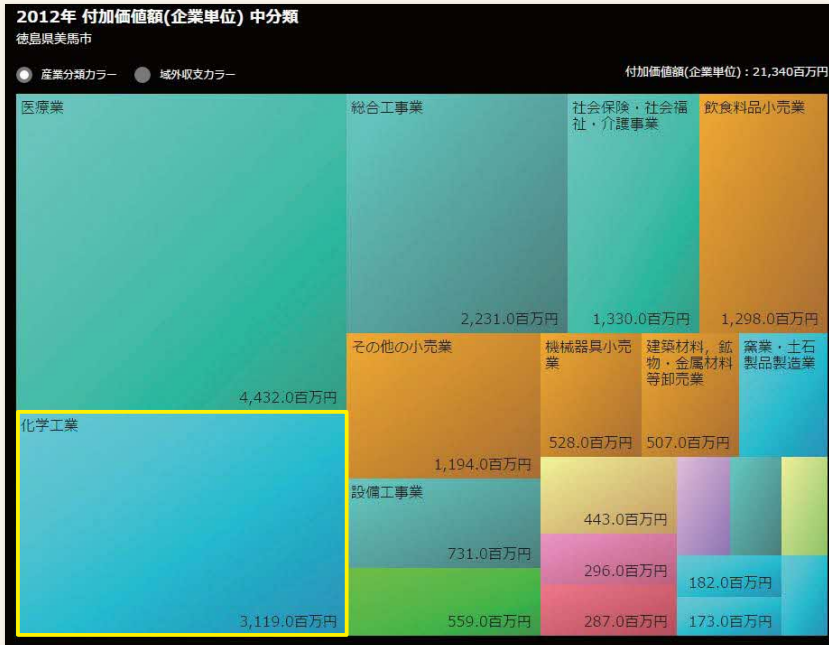
担当者によると、「化学工業の付加価値額や特化係数が著しく高く、中でも、化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業が際立っており、地域中核企業との相関も明らかで、市の強みといえる。」とのことであり、美馬市の製造業における化学工業の付加価値額構成比は高く、近隣市町村と比較しても、その割合が大きいことが分かった。更に、化学工業の中でも「化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業」の特化係数が際立って高く、多業種の地域中核企業も複数抽出されたことから、地域に根ざした産業として成長し、美馬市の強みになっていることが分かった。

今後は、更なる化学産業の集積を促進し、雇用の拡大につながる生産基盤の充実支援に取り組む予定である。

6 資料：総務省「国勢調査」（2010年）

■(第11-2-1図)産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 産業分類カラー

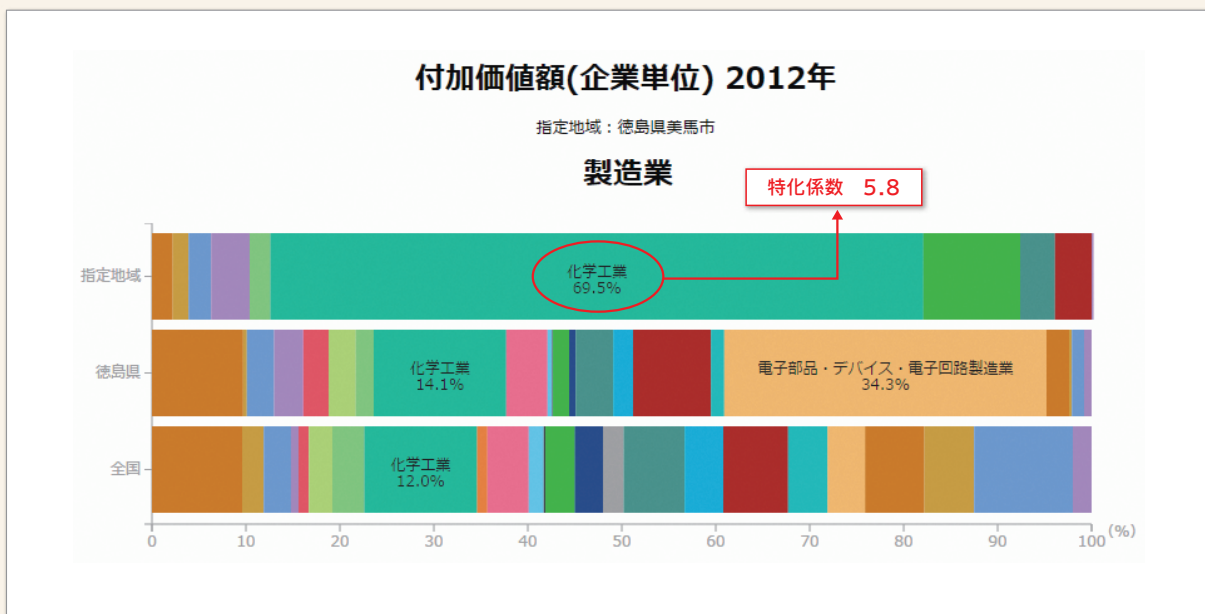
[徳島県美馬市 2012年]



**Point!**  
 製造業のうち、付加価値額では化学工業が際立って大きい。

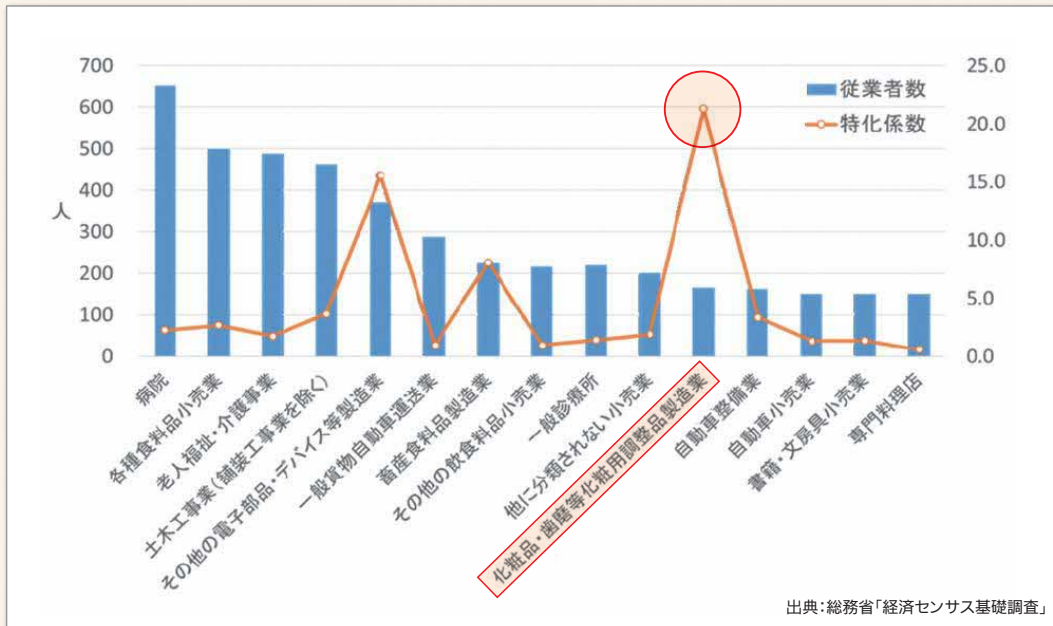
産業マップ 全産業花火図 付加価値額(企業単位) 中分類 産業分類順

[徳島県美馬市 製造業 2012年]





■(第11-2-2図)美馬市における従業者数150人以上の産業分類(小分類)



Point!

化学工業の中でも、化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業の特化係数が突出して高い。

■(第11-2-3図)産業マップ 企業別花火図 地域中核企業候補の抽出結果 [徳島県美馬市 化学工業] 加工あり

地域中核企業候補の抽出結果

抽出結果: 2

順位	企業名	資本金 (千円)	従業員数 (人)	売上高 (千円)	当期純利益 (千円)
1					
2					
	A社				

※A社は本社が大阪市旭区に所在するが、生産拠点(徳島工場)が美馬市内に所在するため掲載。

Point!

化粧品・歯磨等化粧品用調整品製造業には複数の企業が参入しており、地域に根ざした産業となっている。

## 第3次産業（観光）に係る分析

### ●活用の背景

美馬市は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「うだつの町並み」をはじめ、建造物、史跡などの歴史的・文化的観光資源を有しており、観光をテーマにした産業振興を目指している。そこで美馬市の観光資源を代表する「うだつの町並み」について、RESASを活用して四国の主要観光地と比較分析を行い、今後の振興策の方向性について検討を行った。

### ●分析内容

第11-3-1図は、「うだつの町並み」における休日の流動人口の時間別推移について、近隣の主要観光地域との比較を示したものである。これを見ると、他の主要観光地と比較して、「うだつの町並み」の休日流動人口の推移には、時間による変化がほとんど見られないことが分かる。このことから、観光客の滞在時間が非常に短いことが推察される。

第11-3-2図は、「うだつの町並み」における休日の流動人口の月別推移について、近隣の主要観光地域との比較を示したものである。これを見ると、「うだつの町並み」に訪れる観光客の月別の増減傾向は琴平に近いが、流動人口のボリュームには、「うだつの町並み」は月に20,000人程度、琴平町は80,000～140,000人程度と、大きな差があることが分かる。

第11-3-3図は、美馬市、鳴門市、三好市、琴平町における地域外からの休日の滞在人口の内訳を示したものである。これを見ると、美馬市では主に四国内他県、大阪府などからの流入であるのに対し、鳴門市、三好市、琴平町においては、兵庫県や岡山県などからも流入があることが分かる。

### ●得られた結論・今後の展開

担当者によると、「近隣の観光地と比較して、季節・時間帯別の特徴が見られない。これは滞在時間が少ないことを意味しており、滞在時間を延ばすための方策が今後の課題である。」とのことであり、通過型ではなく滞在型観光の推進が重要な課題であることが認識された。

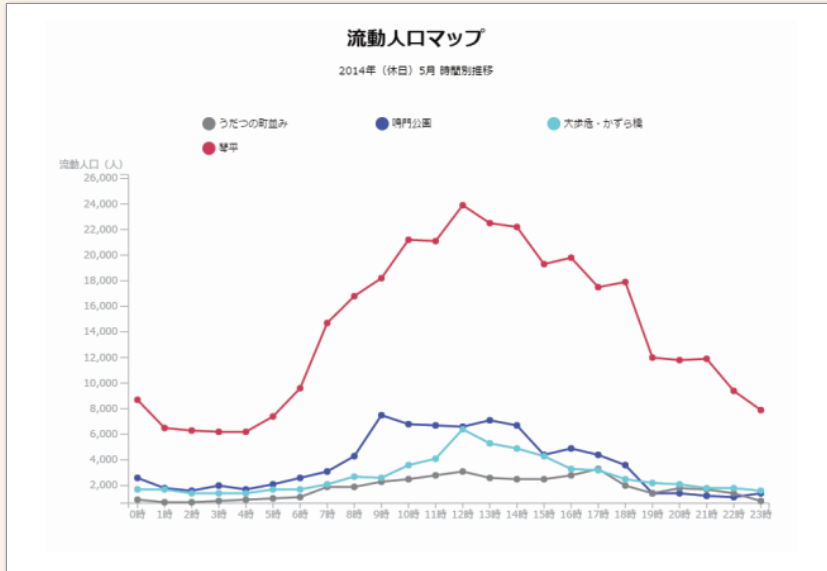
月別滞在人口推移の分析においては、琴平町との類似点が認められることから、「うだつの町並み（美馬市）」と「金毘羅さん（琴平町）」とでは、観光客の嗜好が近い可能性が示された。一方で、流動人口のボリュームには大きな差があり、琴平町の観光客を「うだつの町並み」に誘引する戦略が必要であると認識された。また、鳴門市、三好市、琴平町など近隣の観光地には見られる兵庫県や岡山県からの流入が、美馬市では確認されず、これらの観光客を呼び込む方策が必要であることも分かった。

これらの分析結果から、他の観光地との一層の連携に加え、体験プログラムの開発などを通じて、「うだつの町並み」の滞在時間を延ばす方策を検討することとなった。

また、今後は、「日本版DMO（＝Destination Management Organization）」の構築による教育旅行や、体験観光プログラムの充実を急ぐとともに、空き家等を活用した町並みの魅力向上などに取り組む。また三好市ほか2市2町で取り組む「にし阿波～剣山・吉野川観光圏<sup>7</sup>」に加えて、「東瀬戸周遊観光」の取組も検討し、新たな観光ルートの開発を目指す方針である。

7 徳島県西部の美馬市、三好市、つるぎ町及び東みよし町からなるエリアにおいて、「剣山に代表される山の資源」と「四国三郎・吉野川に代表される川の資源」の恵みが育んだ、独特の歴史文化、伝説伝承、暮らしにより、他地域との差別化を図り、独自ブランドの確立を目指す観光圏整備実施計画。2013年に国土交通省の認定を受けた。

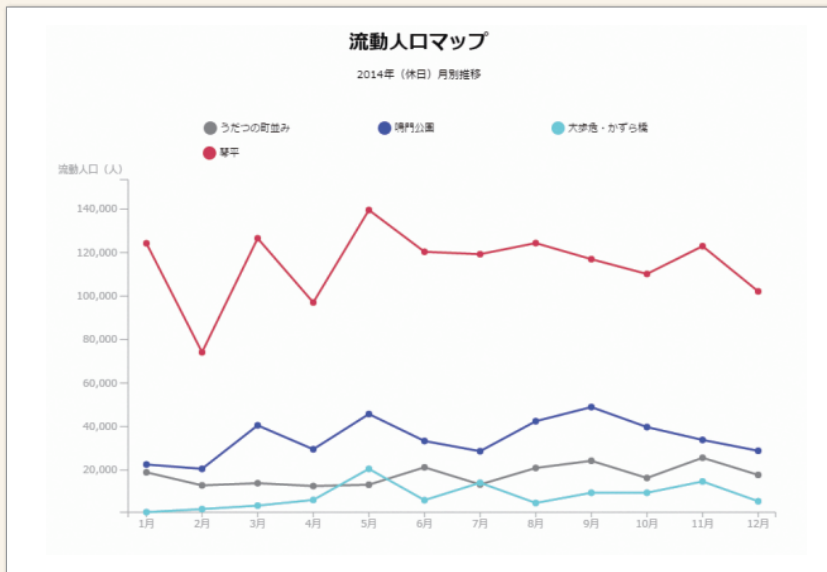
■(第11-3-1図)観光マップメッシュ分析(流動人口) 流動人口マップ  
 [2014年(休日) 5月 時間別推移  
 うだつの町並み、鳴門公園、大歩危・かずら橋、琴平]



**Point!**

うだつの町並みは、近隣主要観光地と比較して、休日流動人口の時間による変化がほとんど見られず、観光客の滞在時間が非常に短いことが分かる。

■(第11-3-2図)観光マップメッシュ分析(流動人口) 流動人口マップ  
 [2014年(休日) 月別推移  
 うだつの町並み、鳴門公園、大歩危・かずら橋、琴平]

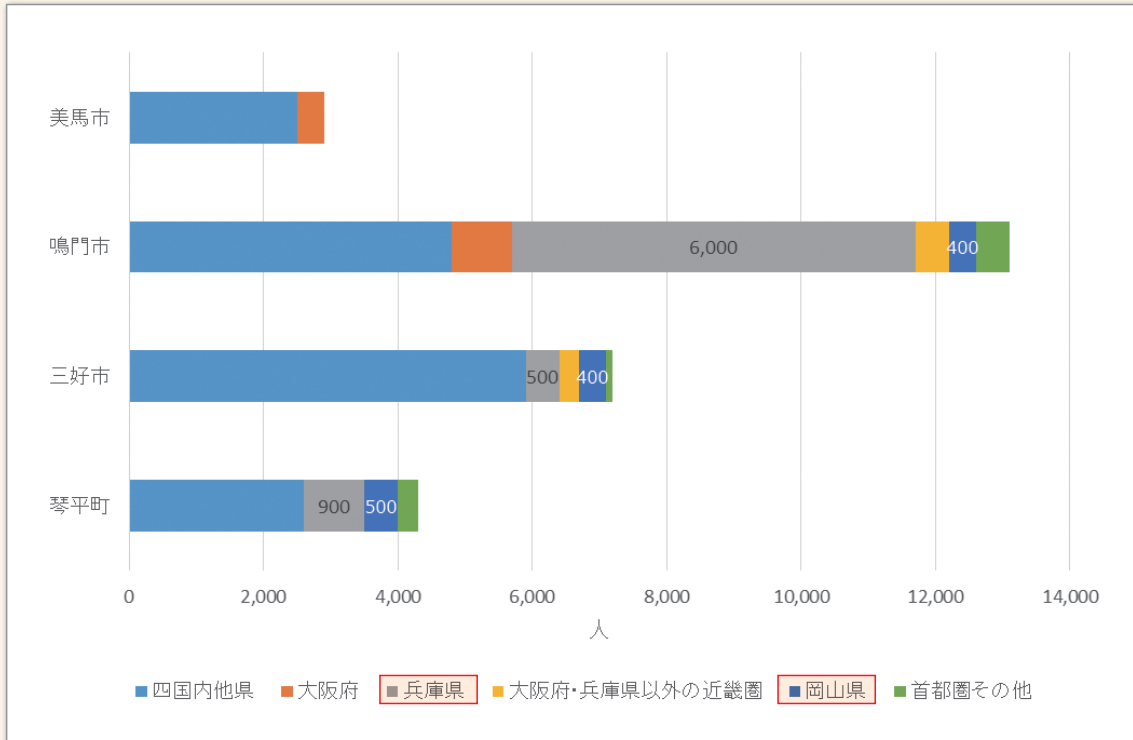


**Point!**

休日流動人口月別推移は、美馬市は琴平市と類似した推移を見せているが、流動人口ボリュームは琴平町の方が著しく大きい。

■(第11-3-3図)観光マップ From-to分析(滞在人口)

[2014年(休日) 徳島県美馬市、徳島県鳴門市、徳島県三好市、香川県琴平町] 再編加工



Point!

市外からの観光客について鳴門市、三好市、琴平町においては確認されている兵庫県、岡山県からの入込客が、美馬市では確認されていない。